

●特集① 新“うつくしま、ふくしま。”県民運動  
**100年後も… いきいき  
 ふくしま うつくしま**…………… 3  
**県の新しい組織**…………… 6  
 ●特集②  
**平成20年度当初予算**…………… 8  
**ボイス**…………… 8  
**ちいき情報局**…………… 10  
**とぼんしょ、こらんしょ、福島空港!**…………… 11  
**県からのお知らせ**…………… 12  
**データでみるうつくしま**…………… 12  
**発掘! うつくしまセレクション**…………… 13  
**施設のご案内**…………… 15  
**夢だよりクイズ・県政広報ガイド**…………… 16



うつくしま **夢だより**  
 News of Fukushima

平成20年  
2008

4月

1日

NO.215  
隔月発行



表紙の3人

- 左 いわき市 さかい のぶたか 酒井 延胤さん (69歳)
- 中 いわき市 こたに みおり 小谷 澤璃さん (13歳)
- 右 いわき市 ごうだ 郷田 なつみさん (17歳)

弓と的と射る人を静かに包み込む空間。  
 自分自身の内面を限りなく深く  
 観察していく。



古くから、精神面の修練にも用いられ、日本の武道、武芸として発展してきた弓道。現在ではスポーツの面も持ち合わせ、多くの方が弓道場に足を運んでいます。  
 弓道は瞬発力や筋力には依存しないため年齢的なピークがなく、平弓道会でも、小学生から83歳まで幅広い世代が参加。現在の会員数は70人を数えます。  
 会長を務める酒井さんは、高校教師をしていた時に弓道部の顧問に。以来弓道に親しみ、定年退職を機に本格的に取り組み始めました。  
 高校生の郷田さんは弓道を始めて2年。「テレビで見た弓道が格好

良かったから」と笑いますが、射位に立ち弓を引く姿はまさに不動心。郷田さんの放つ矢は、張り詰めた空気を一瞬で切り裂きます。  
 中学生の小谷さんは、弓道会会員のお母さんに付き添って通ううちに自身も弓を引くようになりました。礼儀、姿勢、集中と落ち着きなど、多くのことを学んでいます。

静寂の中にある自分自身との対話。空間と呼吸のリズムが同調した瞬間、矢は美しく放たれます。



平弓道会の皆さん

●連絡先/いわき市平下荒川字久世原38-39 (酒井延胤) ☎0246 (28) 1917